

# 「防災学習会 Part 2

## ～『私たちには人の命を救える力がある』～

9月22日(木) 及川先生がやってきた!!

講師は、テレビやラジオなどのメディアでも活躍している日本赤十字秋田短期大学 及川真一先生でした。室内用テントや段ボールベッドなど、学習会のために車いっばいの防災グッズを準備してきてくださいました。

学習会では、身近な物でできる防災グッズを全員で作ったり、実際に避難所で使われている室内用テントや段ボールベッドを組み立ててみたりしました。生徒達は、及川先生の語り口と明るい笑顔に引きつけられ、時間を忘れて楽しく学習していました。



【段ボールベッドが完成!】  
及川先生もびっくりするほど、どのグループもあっという間に組み立てました。特に、お母さんグループの手際の良さと団結力はすばらしかった!

「わりと寝心地がいい!」



【ごみ袋でカッパができた!】  
雨や風が入らないように、首回りや袖ぐりを狭くするのがコツ!  
「あったか〜い♥」



【ペットボトルランタンはすごい!】  
水に少しの油を混ぜて振ると、「爆裂に光る」らしい……。さらにごみ袋を風船のように膨らませてかぶせると大きなランタンになる!

「避難所でもできそうだ!」



【避難所での1人当たりの広さ  
世界の基準は?】  
室内用テントは、とても簡単に組み立てられるようになっていきました。7人も入れるくらい広いけれど、世界の基準ではこれで1人用だそうです。

「日本は体育座りの広さなんだって・・・  
狭い!」



## 9月29日(木) ペットボトルランタンを作ってみた!!

事後学習では、全員でランタン作りをしました。まずはペットボトルに好きなイラストや模様を描きました。「水に油を混ぜると強く光る」という及川先生の“教え”を検証すべく、実験！油のあり・なしで光り方を比べてみたり、懐中電灯の当て方を変えてみたりと、さながら理科実験のような様子でした。

完成したランタンを丸く並べて一斉に光らせてみると、天井にまで広がり揺れる光に歓声が上がりました。いつか、もし避難所で生活することがあれば、生徒たちがランタンの作り方を教えているかもしれません。



### 生徒の感想

「普段使っているごみ袋が、あんなにいろいろなことに使えることにびっくりしました。自分たちには、人を救える力があるということが分かりました。」

「及川先生に教えてもらったように、テントや段ボールベッドを組み立てたいと思いました。」

「私も、避難所でみんなのベッドを作る手伝いをしたいです。」

「今回の経験をもとに、もしものときは自分から手伝ったり、協力したりして乗り越えたいです。」